



マリー・ローランサン「ブランセ達」1928年 ©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2005

大阪市立近代美術館（仮称） 所蔵名品展

美術館の『春』コレクション
モディリアーニからマグリットまで

2005年4月23日(土)～7月3日(日)

毎週水曜日休館
ただし5月4日(水)は開館

◎午前11時～午後7時(入場は6時30分まで)

主催 大阪市教育委員会(近代美術館建設準備室)、日本経済新聞社
後援 財団法人大阪都市協会、財団法人大阪21世紀協会

観覧料 一般500円(400円)／高校・大学生300円(200円)
※(一)内は20名以上の団体料金。
※中学生以下、大阪市内在住で65歳以上の方(要証明)および
障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料。

お仕事帰り、心にうるおい。

大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室
大阪市中央区南船場3-4-26 出光ナガボビル13階(旧出光美術館大阪)

大阪市立近代美術館 所蔵名品展

大阪市立近代美術館の春
コレクション、モディリアーニからマグリットまで



アメデオ・モディリアーニ「髪をほどいた横たわる裸婦」1917年

ルネ・マグリット「レディ・メイドの花束」1957年
©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2005

あの名画に、再び会える—

20世紀には様々な芸術運動がおこり、優れた画家や彫刻家たちが活躍しました。多彩な個性の時代に生まれた芸術は、わたしたちに見る喜び、心を満たす潤い、そして衝撃を与えます。

大阪市が中之島4丁目に建設計画をすすめている近代美術館では、日本と世界の近・現代美術を概観できる常設展示をめざしています。これまでに収集した3000点におよぶ所蔵品のなかでも珠玉といわれるものが、国内でもトップクラスと評価されている西洋近代美術のコレクションです。平成元年に収集したモディリアーニの《髪をほどいた横たわる裸婦》にはじまり、エコール・ド・パリの画家バスキンやキスリング、フォーヴィスムのドラン、佐伯祐三にも影響を与えたヴラマンクやユトリロ、未来派のボッチョーニ、形而上絵画のデ・キリコ、超現実主義のエルンスト、ダリ、マグリットなど、質の高い作品を収蔵しています。

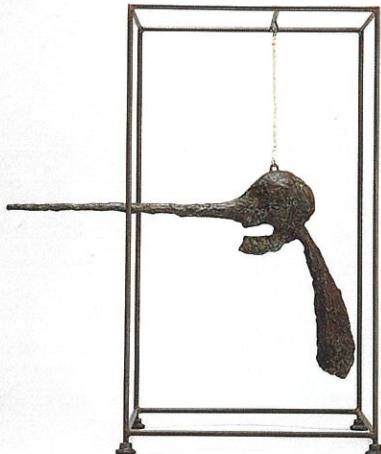
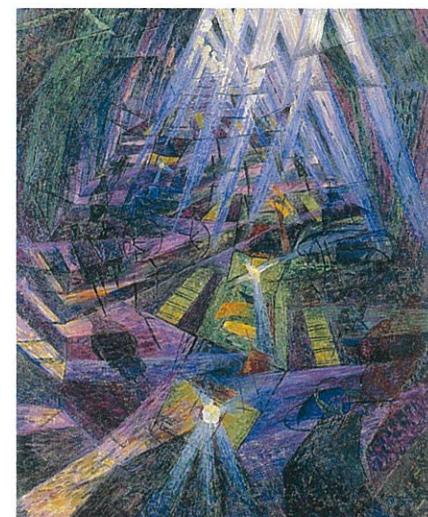
このたびの展覧会は、一般の美術ファンだけでなく専門家からも公開の要望が高い西洋美術コレクションの醍醐味が堪能できるよう、これらの著名な美術家たちの絵画作品を中心に版画や彫刻も加えた約50点を展示します。心斎橋の新しいアートスペースで、華やかな名画の競演をお楽しみいただきます。

夜7時まで開館しておりますので、お仕事帰りやお買い物帰りの皆さんも、どうぞごゆっくりご鑑賞ください。

近代美術館(仮称)が所蔵する西洋近代美術の
絵画・版画・彫刻・写真等約50点を展示します

【主な出品作家】

アメデオ・モディリアーニ、モイーズ・キスリング、ジュール・バスキン、
マリー・ローランサン、モーリス・ユトリロ、ジョルジオ・デ・キリコ、マックス・エルンスト、
サルバドール・ダリ、ルネ・マグリット、ジャン(ハンス)・アルプ、フランシス・ピカビア、
アンドレ・ドラン、ウンベルト・ボッチョーニ、ラースロ・モホリ=ナギ、
アルベルト・ジャコメッティ、ウラジーミル・タトリンほか

アルベルト・ジャコメッティ「鼻」1947年
©ADAGP, Paris & SPDA, Tokyo, 2005

ウンベルト・ボッチョーニ「街路の力」1911年

[ミュージアムトーク]

会期中の毎週土曜日午後2時30分より学芸員が展覧会をご案内します。
(当日会場入口にて集合／参加無料、ただし観覧券が必要)

大阪市立近代美術館(仮称) 心斎橋展示室

大阪市中央区南船場3-4-26 出光ガホリビル13階(旧出光美術館大阪)

お問い合わせ=大阪市立近代美術館建設準備室(大阪市役所内)
Tel.06-6208-9096 / Fax.06-6201-5759(土・日・祝を除く)



地下鉄「心斎橋」駅(御堂筋線/長堀鶴見緑地線)
または「長堀橋」駅(堺筋線/長堀鶴見緑地線) 下車徒歩約3分